

新人教育プログラム見直し後の システムの特徴

生涯学習部

- 開催担当者が所定の申請、及び参加者名簿の登録を実施
- 受講申請及び修了申請はマイページ上で本人が実施する(士会担当者負担軽減)
- 大綱化をコンセプトとし、ブロック・士会をまたいで受講単位も有効

期間短縮・大綱化について

- 1単位時間は現行90分、新システム60分以上
- 必要単位は現行18テーマ、新システムが15テーマ(必須5、選択10)
- 必要年数は現行が3年、新システムは規定なし(1年でも修了可能)
- テーマによって取得方法を複数設定(例: DVD視聴・士会活動・理学療法講習会基本編への参加でも取得可能)

現行との整合性

- 取得している現行のテーマは、すべて移行可能
- 所定の条件を満たしていれば、現行では未修了でも新システム移行後に修了申請が可能
- 2001年度入会会員の未修了会員のリセットを最後に、リセットはせず、積み上げ方式とする。
- 以前にリセットされた新プロテーマの復活はしない。

新プロの変更点

変更ポイント	現行	新システム
1単位の時間	90分	60分以上
取得単位数	18単位(全テーマ必須)	15単位(必須5単位、選択10単位)
10年経過後の措置	リセットし、必須プロ(6単位)	リセットなし、積み上げ
取得方法	集合研修・医療福祉ch・読み替え	集合研修・DVD・士会活動など
取得年限	3年以上	1年から取得可能
症例発表について	3年次テーマに必須(士会裁量)	義務はなし

新しい新人教育プログラム(案)

講座名	テーマ	内容	必須選択		修了要件 (単位数)	履修の方法							
			必須	選択		集合研修	DVD	標準PPT	PT講習会 (基礎編)への参加	学会発表	SV研修への参加	他団体 他施設 研修(無報 型)	士会活動 (士会研修会含む)
必須研修(5)	理学療法と倫理	1.医療倫理や理学療法倫理について学ぶ 2.医療提供者としての医療倫理及び権利を理解する	1		1	○	○	○					
	協会組織と生涯学習システム	1.本協会及び都道府県士会、ブロックの組織と機構について認識する 2.協会の掲げるマスタープランを理解する 3.生涯学習システムの概要を理解する	1		1	○	○	○					○
	リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)	1.医療に関わる職種として、安全管理の基礎とその実際について理解する 2.リスクマネジメントの必要性を理解する 3.理学療法におけるリスクマネジメントの背景を理解する 4.リスクマネジメントにおける記録・報告の方法を学ぶ 5.医療に関わる職種として、感染の基礎とその予防の実	1		1	○	○	○					
	人間関係および接遇 (労働衛生含む)	1.組織・職場・患者との人間関係について学ぶ 2.理学療法士として必要な接遇について理解する 3.人間関係から生ずる労働衛生上の問題についても取り上げ、各種ハラスメントについて理解する	1		1	○	○	○					
	理学療法における関連法規 (労働法含む)	1.理学療法士及び作業療法士法を理解するとともに、関連する法的処置等を含め理解する 2.医療事故・訴訟等についても法的解釈を学ぶ 3.医療行為との境目について、法的根拠に基づいた理解を促す 4.労働法についての理解を深める。 (就労する上で知識として知っておきたい範囲)	1		1	○	○	○					○
理学療法の基礎(3)	一次救命処置と基本処置	1.理学療法士として必要な一次救命処置について理解する		1		○	○	○				○	
	クリニカルリーズニング	1.クリニカルリーズニングの理論を理解する 2.症例を通じた思考過程を理解する		1	3	○	○	○	○				
	シングルケーススタディ	1.シングルケーススタディについて理解する		1		○	○	○	○				
	統計方法論	1.研究に必要な統計について理解する		1		○	○	○	○				
	症例報告・発表の仕方	1.症例報告及び発表方法について理解する		1		○	○	○	○	○			
理学療法の臨床(4)	神経系疾患の理学療法	1.神経系の疾患に対する理学療法について理解する		1	4	○			○			○	
	運動器疾患の理学療法	1.運動器の疾患に対する理学療法について理解する		1		○			○			○	
	内部障害の理学療法	1.内部障害の疾患に対する理学療法について理解する		1		○			○			○	
	高齢者の理学療法	1.高齢者に対する理学療法について理解する		1		○			○			○	
	地域リハビリテーション (生活環境支援含む)	1.急性期、回復期、慢性期の連携を理解する 2.生活環境支援の方法論を理解する		1		○			○			○	○
理学療法の専門性(2)	社会の中の理学療法 (政策含む)	1.社会の中におかれている理学療法(士)の社会的責務を理解する 2.理学療法(士)の歴史的変遷を学び、理学療法(士)将来の方向性を模索する 3.職業人としてのPTのあり方について、地域での役割や専門職としての責務について学ぶ		1	2	○	○	○					
	生涯学習と理学療法の専門領域	1.生涯学習システムを理解し、専門職種として常に研鑽しなければならないことを理解する 2.学術団体組織の中の専門職として、自ら研鑽する必要性を理解する。 3.専門職の中の専門領域の拡大、発展について学ぶ		1		○	○	○		○			
	理学療法の研究手法論 (EBPT含む)	1.症例検討の方法論について理解する 2.学問としての理学療法学について理解し、研究することの意義を学ぶ 3.実際の研究手法論について学び、各種研究法を理解する		1		○	○	○		○			
理学療法における人材の育成(1)	臨床実習指導方法論	1.臨床実習教育の重要性を理解し、臨床実習指導者としての資質向上に努める 学校教育システムを含む		1	1	○	○	○			○		
	ティーチングとコーチング (コミュニケーションスキル含む)	1.コミュニケーションスキルやコーチングについて学ぶ 2.職場教育含む		1		○	○	○			○		
	国際社会と理学療法	1.国際社会における理学療法のあり方について学ぶ		1		○	○	○					○
計					15								